

MP3 InfoMaster マニュアル

可不可

2010 年 8 月 5 日

目次

1	このソフトでできること・できないこと	1
2	準備編	2
2.1	使う前にやっておくこと	2
2.2	インストール	2
2.3	LyricMaster を使うために	3
3	操作編	4
3.1	音楽ファイルを読み込む	4
3.2	タグを編集する	4
3.3	歌詞を検索する	4
3.4	画像を検索する	5
3.5	ファイルを保存する	5
3.6	ジャンルの編集	5
4	その他	6
4.1	仕様・開発環境	6
4.2	謝辞	6

iPhone で MP3 に変換した音楽ファイルを聞いています。iPhone や iPod では歌詞、画像も表示できるようになっています。歌詞は Kenichi Maehashi 氏の LyricMaster というソフトで検索できるので重宝しています。画像は Google で、タイトル+アーティスト名でジャケット写真を検索し、ダウンロードして添付していました。しかし、面倒です。これを連携したソフトがあればいいと思い、作りました。単機能ですので、操作も簡単です。

1 このソフトでできること・できないこと

基本的機能は、普通のタグエディタと同じですが以下の特徴があります。

- 画像、歌詞タグも編集できます
- 画像は Google から検索できます
- 歌詞は Kenichi Maehashi 氏の LyricMaster を使い検索できます

注意することとしては、

- MP3 専用です (m3u や WMP のファイルには使えません。MP3 に変換してください。)
- iPhone には文字コードを UTF にしてください
- 本ソフトで文字コードの変換はできません
- 添付できる画像は Jpeg のみです
- タグの削除はできません
- タグのバージョンは読み出し ID3ver2.2, 2.3、書き出し ID3ver2.3 です
- Windows Vista, XP で動作します

詳しくは仕様 (4.1 仕様 6 ページ) をご覧ください。

iPhone での使い方

手持ちの MP3 ファイルの場合は、タグの文字コードを UTF に変換します。その後、本ソフトで歌詞、画像を追加して iTunes 経由で iPhone に送ります。

iTunes にある m3u ファイルの場合は、いったん MP3 ファイルに変換して本ソフトに送ります。UTF に変換する必要はありません。(実行していませんが、大丈夫でしょう)

iPod での確認はしていませんが iPhone と同等と思います。

2 準備編

2.1 使う前にやっておくこと

このソフトは .NETFramework 4.0 用に作ってあります。インストールしていない場合は、お手数ですが、以下のサイトからダウンロードして、インストールしてください。(URL は 1 行です) .NETFramework はアップコンパチ (上位互換) なので、最新版をインストールしておけば今までのバージョンはすべて使えるので、この際、インストールしておいた方がいいと思います。

<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyID=9cfb2d51-5ff4-4491-b0e5-b386f32c0992&displaylang=ja>

この URL の「ダウンロード」をクリックすると、実行するか保存するかを聞いてきます。「実行」をクリックすると、自動的にインストールが始まります。インストールにはかなり時間がかかりますので、覚悟してください (6 年ほど前の PC で 20 分くらいかかりました)。

LyricMaster は Kenichi Maehashi 氏の作った歌詞検索ソフトです。本ソフトと連携してあります。歌詞検索機能を使う方は以下からダウンロードしてインストールしておいてください。

<http://www.kenichimaehashi.com/lyricsmaster>

LyricMaster のインストールの時、「どこに展開するか」と聞かれます。C:\Program Files と指定すれば後で説明する初期設定 (2.3 初期設定、3 ページ) をしなくても使えるはずです。

2.2 インストール

本パッケージは、圧縮してあるので適当なフォルダーに解凍してください。InfoMaster.exe をダブルクリックすれば起動し、図 3(4 ページ) のようなウインドウが出ます。これが出ればインストールは成功です。

出ない場合は、.NET Framework が正しくインストールされているか、解凍したフォルダーの中身に不足がないか、同梱してある Readme.txt を読み、確認してください。

アンインストール

使わなくなった場合は、インストールしたフォルダを削除してください。レジストリを使っていないので、それだけで OK です。

注意

- ・本ソフトを使って発生した損害に対する責任・保障に関しては作者は関知しません。

- ・貴重なファイルを扱う場合は必ずバックアップを取っておきましょう。
- ・LyricMaster との連携に関する質問など直接 Kenichi Maehashi 氏に問い合わせることはおやめください。
- ・本ソフトに関するご質問、ご意見などは show_land@hotmail.co.jp までお願いします。

2.3 LyricMaster を使うために

本ソフトから歌詞検索のため LyricMaster を使うには初期設定をする必要があります。LyricMaster が起動できていればそれほど難しくありませんので、がんばってください。

もし連携できなくても、歌詞検索機能が使えないだけで、他の機能は使えます。また、後でも設定できますので歌詞選択抜きで使っていただいてもかまいません。

LyricMaster (というか、一般にプログラムは) は、Cドライブの Program Files フォルダにインストールするのが普通なので、以下はそこにインストールしてあることを前提に説明します。

まず、LyricMaster を起動してメニューの「ファイル」

「環境設定」をクリックすると設定画面 (図 1) が現れます。いくつかのタグがありますが、右端の「その他」で図 1 上のような画面になります。下の方にある「外部ソフトウェアの設定」をクリックします。

そうすると、さらに図 1 下のような画面が出てきます。この画面で次のように設定します。

「外部ソフトウェアを使用する」をチェック

「設定パスをコピー」の右のコンボボックスを「曲名 + 歌手名」を選択

「コピー」ボタンをクリック

以上を実行したら「設定パスをコピーしました」という確認画面が出ます。これが出れば成功です。LyricMaster に関して以上です。後でインフォマスターから起動できるかのテストを行いますので、LyricMaster を終了します。

ここまでは簡単でしょ。次は少し面倒になります。

「メモ帳」などエディタを起動します。^{*1}メモ帳メニューの「編集」「貼り付け」で LyricMaster から取得した情報を読み込み、表示します。

Cドライブ Program Files フォルダにインストールしたら下のようになっていると思います。(インストールした場所の違いがあるので同じにはなりませんので、同じでなくても心配はいりません。印刷の都合で2行になっていますが、本当は1行になります。)

C:\WINDOWS\system32\wscript.exe "C:\Program Files\Lyrics Master\ExtSupport.js" multi "[title]" "[artist]"

必要なのはアンダーラインを引いた文字列なので、前後の余計なものを削除します。そうすると次のようになります。

C:\Program Files\Lyrics Master ("は必要ありません)

ここまでできたら、いよいよインフォマスターにこのデータを教えましょう。メモ帳はそのまま、インフォマスターを起動します。^{*2}メニューの「ファイル」をクリックすると「初期設定」という項目があるので

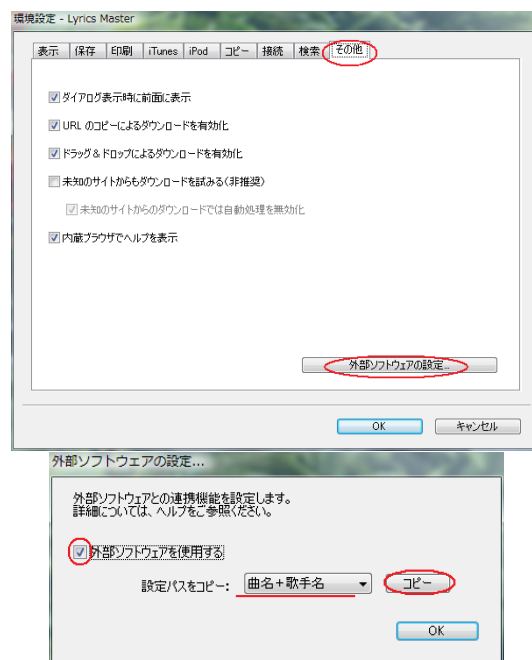


図 1 LyricMaster 「環境設定」

^{*1} メモ帳は「スタート」「すべてのプログラム」内の「アクセサリ」の中にあります

^{*2} 起動は 2.2 インストール (2 ページ)

クリックします。

図 2 のような画面が出ます。「LyricMaster パス」に標準的なパスを設定してあります。これとメモ帳で作ったパスが同じなら問題はないのですが、違う場合はメモ帳の方を「LyricMaster パス」の方にコピー & ペーストします。

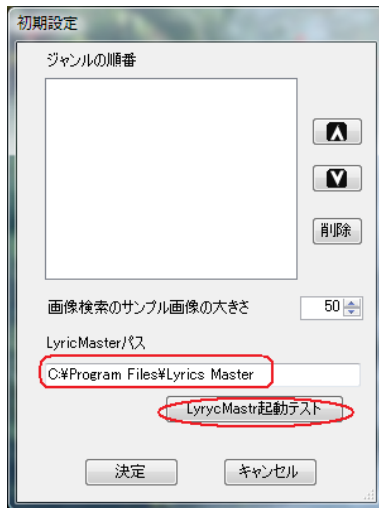


図 2 「初期設定」画面

入力したパスが正しいかを確認することができます。「LyricMaster 起動テスト」をクリックすれば LyricMaster が起動します。起動しない場合はパスが違うというメッセージが表示されますので、もう一度 LyricMaster を起動してパスを確認してください。

LyricMaster がうまく起動したら「決定」をクリックすると、パスが保存されて設定は終了です。

メモ帳、起動した LyricMaster を終了させます。その他の設定に関しては 3.4、3.6 で説明します。

3 操作編

3.1 音楽ファイルを読み込む

曲目リストにドラッグ&ドロップ (以下 D&D) します。追加する時も同様に D&D します。同じファイルを追加しようとする、警告メッセージが出て追加できません。

リストから削除するには、削除したいファイルを選んで Delete キーを押します。1 度に 1 つしか削除できません。一度に削除するには「リストクリア」をクリックします。

3.2 タグを編集する

曲目リストで編集したいファイルを選ぶと、そのファイルのタグデータが表示されます。文字データは直接編集できます。文字を削除して空白にするとそのタグは保存されません。

画像追加・削除

画像を追加するには、Jpeg 画像を D&D します。Jpeg 以外は使えません。設定されている画像を削除するには、「画像削除」をクリックします。一度削除したら元に戻せないのご注意ください。(画像検索については 3.4 画像を検索する、5 ページをご覧ください。)

3.3 歌詞を検索する

初期設定 (2.3「LyricMaster を使うために」) で LyricMaster と連携をしてあれば歌詞検索できます。

歌詞を検索したいファイルを「曲名リスト」でクリックして選択します。タグが表示されますが、同時に「検索データ」のタイトルとアーティストにも表示されます。これをキーとして検索します。だから、タイトルとアーティストのうち、どちらかが未入力ならば検索できません。

検索用データが表示されていれば、「歌詞検索」をクリックします。LyricMaster が起動されます。後は LyricMaster のマ

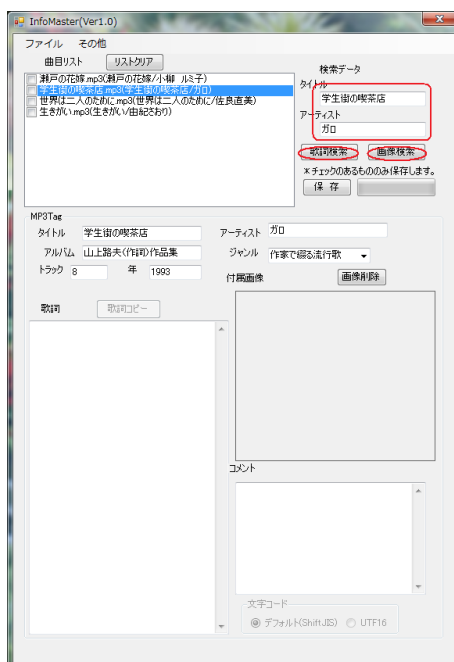


図 3 InfoMaster メイン画面

ニュアルを参照してください。

簡単に説明すると、(以下は LyricMaster での操作) 検索画面に一覧が表示されます。その内の 1 つをダブルクリックすると表示画面に歌詞が表示されます。メニューの「歌詞」のサブメニューの「コピー」をクリックします。LyricMaster の操作はこれだけです。

インフォマスターに戻り、「歌詞コピー」をクリックすると、LyricMaster でコピーされた歌詞が表示されるでしょう。

希望するような検索結果にならないときは「検索データ」のタイトルとアーティストを適当に変えて、再び「歌詞検索」をクリックしてみてください。日本語なら「歌」といっても「うた、唄、詩・・・」などいろいろあるので違う結果になります。

3.4 画像を検索する

「歌詞を検索する」と同様、「検索データ」にタイトルとアーティストが表示されていれば「画像検索」をクリックします。すると、画像検索画面 (図 4) が表示され、検索文字列をキーとして Google から 8 個の画像を検索して表示します。その内で気に入った画像をクリックすると、メイン画面に表示されます。別の画像をクリックすれば、それと入れ替わります。

Google の制限から 8 個しか検索できません。別の画像を探すには、歌詞の時と同様に、「検索データ」のタイトルとアーティストを適当に変えて再検索してください。画像が抜けることがあるかもしれませんが、リンクが切れたりして実体のファイルが取得できなかったためです。

検索画面を閉じるには「閉じる」をクリックします。引き続き検索する時は閉じる必要はありません。

検索画像のサイズ変更



図 4 「画像検索」画面

画像検索画面の表示画像をもっと大きく (小さく) できます。メイン画面のメニューの初期設定をクリックし初期設定画面を開きます。(図 2、4 ページ) 「画像検索のサンプル画像の大きさ」の数字を調節します。「決定」でメイン画面に戻ります。もし「画像検索画面」が開いていたら閉じます。もう一度開けば対応しています。検索画面の大きさを調節して見やすい大きさにします。

3.5 ファイルを保存する

タグを編集すると「曲目リスト」の左端にチェックが付きます。リストの項目をダブルクリックするとチェックの状態が反転します。せっかくタグを入力しても不注意でチェックが外れることがありますのでご注意ください。

「保存」をクリックするとチェックの付いたもののみ上書き保存されます。ボタンの右にプログレスバーがあるので、緑の部分が右端まで延びたら完了です。

3.6 ジャンルの編集

ID2 タグ ver2 以降ではジャンルに日本語が使えるので、ユーザが自由に設定できます。しかし、以前に付けたジャンル名を忘れてしまい、別の名前を付けてしまうことがあります。

たとえば、同じジャンルのつもりでも、Jpop, J-POP, J-Pop・・・と複数のジャンル名を入力していませんか？私はあります。

そこで、本ソフトでは今までに読み込んだジャンル名を記録してあります。ジャンル名を入力する時、「ジャンル名」の右端の矢印 () をクリックすると表示されます。(もちろん最初は空です)

しかし、頻繁に使うものが下の方に並ぶ可能性があります。そこで、順番を変える機能を付けました。メイン画面のメニューの初期設定をクリックし初期設定画面 (図 2、4 ページ) を開きます。「ジャンルの順番」が

それです。移動したい項目をクリックして選びます。右の上向き・下向き矢印ボタンをクリックすると上下に移動します。「削除」をクリックすると削除されます。削除はできますが、ここで追加はできません。タグ編集のときに新しいジャンルを入力してください。

4 その他

4.1 仕様・開発環境

仕様

- 編集できるタグバージョンは読出しは 2.2 と 2.3。書き出しは 2.3 のみ
- 編集できるタグ (タイトル、アーティスト、アルバム、トラック、年、ジャンル、画像、歌詞、コメント)
- 文字コードは変更できません
- 画像検索は 8 個しか取得できません。(GoogleAPI の使用制限による)
- タグを削除する機能はありません (タグの読み書き用のライブラリのバグです)

開発環境

- 使用 OS : Windows Vista
- 使用開発環境 : VisualStudio Academic
- 使用言語 : C#

使用ライブラリ・ソフト

- Lyrics Master 2.2.1 for Windows (URL [1])
- GAPI.NET (URL [2])
- MP3TagLib (URL [3])

4.2 謝辞

まず、LyricMaster という素晴らしいソフトを作られた Kenichi Maehashi 氏に感謝します。このソフトがなければ、本ソフトは誕生していません。感謝の意味も込めて本ソフトにマスターという名前を入れました。

GAPI を提供いただいた shporer 氏にも感謝いたします。

アイコンは senote.com の iPod XP icons 256 色&フルカラー video, nano 対応 (version 1.00) を使わせていただきましたが、連絡が取れなくここで謝意を表します。

マニュアルの校正をお頼みした某氏にも感謝いたします。

今後の改良など

ちょっと改造すれば直接 iTunes 内の MP3 をいじれるようにできそうです。次回のバージョンアップで対応したいと思います。

印刷機能がありません。独自の印刷ルーチンを組み込むのは大変な作業だと予想されます。Excel を直接いじれる、VSTO(Visual Studio Tools for Office) というメカニズムがあります。これを使えば印刷は Excel に任せることができます。これはまだ資料が少なく、海のものとも山のものとも分かりませんが、行けそうな気がします。

配布条件

本ソフトのパッケージには LyricMaster は含んでいません。別にダウンロード・インストールしてください。

著作権に関しては GPL に準じます。

その他に関しては作者にご連絡ください。(show_land@hotmail.co.jp)

参考文献

- [1] (LyricMaster) ネットから歌詞を検索し、ダウンロードする
<http://www.kenichimaehashi.com/lyricsmaster>
- [2] (GAPI)Google API を使いやすくするラッパークラス
<http://code.google.com/p/gapi-google-analytics-php-interface>
- [3] (MP3TagLib)MP3 タグを読み書きするライブラリ (歌詞、画像も含む)
<http://www.vector.co.jp/soft/winnt/prog/se483898.html>